

主体性・自主性・気付き合いを大切にする為に

日々の散歩のコース・活動内容は子ども達自身で意見を出し合いながら決めます。

1人のアイデアでコース・活動が変わることだってあります。転んでしまったり、ケンカになっても自分の力で立ち上がり、子ども達自身が解決することを信じて見守ります。

私達大人は子ども達が可愛いが故に、先回りをして子ども達に答えを出してしまう事があります。けれど、それは子ども達から「自ら考え、自ら選択(決断)し、自ら行動する」という力を奪ってしまうことに繋がってしまうのかもしれません。子ども達は自分たちで問題を解決する力を秘めています。

だからこそ、私達はそばに寄り添い子ども達の力を信じて、子ども達が自分で色々なことを解決していく事を大切にしています。



成功体験と失敗体験

成功体験は子どもの育ちにとても大切です。自信を付け、次に踏み出すための大きなステップとなります。

けれど、それと同じように失敗体験も子ども育ちは必要不可欠です。失敗体験の無い自信は不安定で、何かあるとポキリと折れてしまう事もあります…。だからこそ、きちんと失敗体験を重ねてあげるのです！

子ども達は失敗体験を通じて、今の自分の力を知ります。それでも「やりたい！やつてみたい！」の気持ちを膨らませてあげる事で、「失敗体験」は次に踏み出す大きなステップに成りますし、経験を積むこと、方向を変える事で勝ち得る「成功体験」がより大きくしっかりと自信につながります。

自然相手の「失敗体験」は、積み重ねをつけやすく、次の「成功体験」に繋がりやすいのです！



“自然で遊ぶ”と
“自然で遊ぶ”
いう事は…



山の
保育園



里の
保育園

- 既製の玩具がないので自分で考え、想像(創造)して遊ばなければいけません
- 他者との協力(助け合い)・支え合いがなければしっかりと遊びこむことが出来ません
- 様々な不思議・発見に出会い、四季折々の自然の移り変わりを目の当たりに出来ます
- 暑さ寒さ、登り下り、自分の思い通りの環境ではありません。時には怪我をすることだってあります

…だからこそ



- 想像力(創造力)や発想力、ものと関わる力を培えるのです
- 対人関係、人と関わることの力を培えるのです
- 五感を通して豊かな感受性・好奇心を培えるのです
- 体力(身体の芯)・忍耐力(心の芯)を培う事が出来るのです

危険察知能力
自己管理能力を
養えるのです



そこに意図的に地域の人を巻き込む事で

- 地域の皆さんとの会話や、やり取りの中から
- 「見守られている」感覚を身体と心で感じ、安心感・信頼感を培えます
- 異年齢の多様な価値観を培えます
- 地域(ふるさと)とそこに暮らす人々との繋がりを感じながら社会性を培えます

